



2023年版・環境活動レポート

(対象期間 2022年10月 ~ 2023年9月)

2024年1月31日 発行

株式会社富士インダストリーズ

環境経営方針

《基本理念》

当社の事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い地域環境と地球環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

《基本方針》

株式会社富士インダストリーズは、地域性及び環境への関連を考慮し、以下の環境方針を定め、全ての事業活動を通じて、その実現に取り組みます。

1、事業を通じた地球環境保護

全ての事業活動において、地球環境保護に寄与できるよう努めます。
当社の仕入販売において、安全に配慮した上で環境負荷の少ない手段で製品・サービスを提供する。

2、資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を認識し、省資源、省エネルギー、リサイクル、そしてグリーン購入に努めます。

3、環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。

4、継続的環境改善の実施

環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組みます。

- ① 省資源、省エネルギーの推進 [CO2排出抑制]
- ② 廃棄物の削減
- ③ 水・電気・ガス使用量の削減

5、環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

環境活動レポートを公表する等、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い
また、啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。

6、環境保護事業への参入

当社の基本理念に沿った環境保護に積極的な企業への出資・販売協力を推進します。

令和6年1月18日
株式会社富士インダストリーズ
取締役 添田 京一

【2】事業概要

1. 会社概要

- ①会社名 : 株式会社富士インダストリーズ
 ②代表者名 : 環境経営責任者 取締役 添田 京一
 ③ECO21対象範囲 : 神戸本社 : 神戸市中央区明石町32 明海ビル9階
 東京支店 : 東京都港区新橋2丁目5-5 新橋2丁目MTビル
 中部支店 : 名古屋市中区栄1-2-7名古屋東宝ビル3階
 宇都宮営業所 : 栃木県宇都宮市不動前2丁目2-33 スズキビルⅢ2-C
 大阪営業所 : 大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル 6階
 各務原営業所 : 各務原市蘇原三柿野町299-33 多賀ビル2階
- ④本社 : 神戸本社
 ⑤設立 : 1949年6月
 ⑥資本金 : 9,900万円 (全社)
 ⑦売上額 : 21,617百万円 (2023年9月期) (全社)
 ⑧従業員数 : 111名 (神戸本社46名、東京支店30名、中部支店35名)
 ⑨地域指定 : 商業地域
 ⑩敷地面積 : 神戸本社1,894.82㎡、東京支店794.24㎡、中部支店2,410.82㎡
 大阪営業所8,440㎡、宇都宮営業所600.33㎡
 ⑪建物面積 : 賃貸床面積 神戸本社627㎡、東京支店532㎡、中部支店462㎡
 大阪営業所108㎡、宇都宮営業所59.62㎡
- 環境管理責任者 : 宮田 英正
 ○連絡先 : TEL 078-331-2521 、 FAX 078-332-1485
 ○メールアドレス : h.miyata@ficjpn.co.jp

2. 沿革

- 1946年5月 : 創業者 仲野至道の個人経営による機械工具類の製造販売により創業
 1949年6月 : 株式会社組織に改めるとともに、輸出入業に移行
 1956年5月 : 東京支店開設
 1959年5月 : ニューヨークに子会社として米国法人FUJI INDUSTRIES CORP.を設立
 1986年1月 : 株式会社富士インダストリーズと称号を変更
 1995年1月 : 阪神淡路大震災で本社ビルが全壊するも、1ヵ月半後に通常業務に戻る
 2006年8月 : 東京支店現在地に移転
 2011年5月 : バンコックに関連会社としてタイ法人SIAM FUJI INDUSTRIES CO., LTD.を設立
 2015年7月 : ロンドンに子会社として英国法人FUJI INDUSTRIES UK LTD. を設立

3. 事業概要(対象活動範囲)

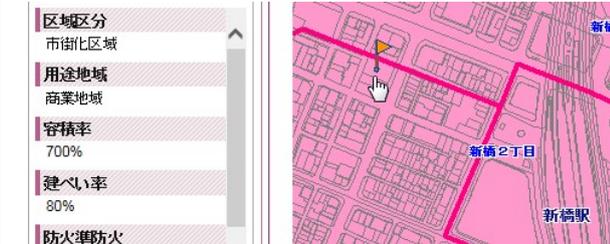
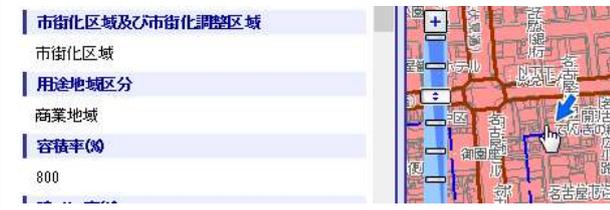
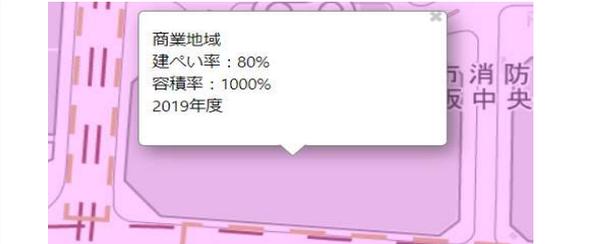
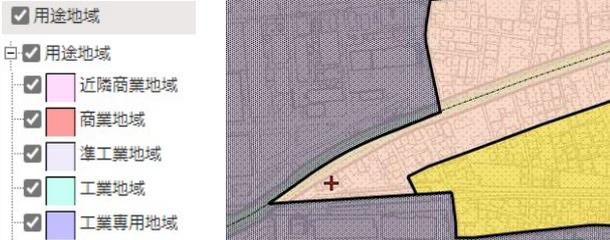
- ◇航空機用部品、材料等の輸入
 ◇ワインの輸入販売

4. 事業形態

- (1)事業年度 : 10月 ~ 翌年9月
 (2)年間稼働日数 : 242日
 (3)就業形態 : 1シフト
 (4)就業時間 : 9:00~17:30(神戸本社)、9:15~17:45(東京支店、中部支店)
 (7.5時間労働)

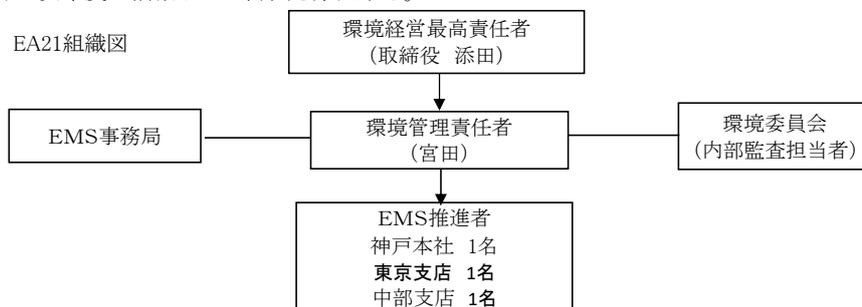
[3]敷地概要

◇都市計画法での用途地域指定：商業地域

神戸本社 商業地域		
東京支店 商業地域		
中部支店 商業地域		
宇都宮営業所 準工業地域		
大阪営業所 商業地域		
各務原営業所 商業地域		

[4]エコアクション21実施体制の構築

(1)支店長は環境経営システムを運用・実施・維持する体制を構築する。
毎年12月に次年度の活動および計画を策定する。



2023年9月期環境目標及び環境活動実施計画書

X: 目標の達成度
 O: 100% ≤ X
 Δ: 70% ≤ X < 100%
 ×: X < 70%

承認	点検	作成
宮田	EMS事務局	EMS推進者

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月期実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)				責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)															
				基準(BM)	目 標		目 的			第 1 四半期			評 価	第 2 四半期			評 価	第 3 四半期			評 価	第 4 四半期			評 価
					2022年9月期 実績	2023年 9月期				2024年 9月期	2025年 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・排出ごみの分別を徹底する。 ・靴を活用してレジ袋を削減。	24345L	目標維持 (24345 L)	目標維持 (24345 L)	目標維持 (24345 L)	片倉	目標	6086 L	79%	△	6086 L	88%	△	6086 L	58%	X	6086 L	85%	△				
								熊本	実績	7,335 L	エネルギー 管理表 参照		6,840 L	エネルギー 管理表 参照		8,640 L	エネルギー 管理表 参照		6,975 L	エネルギー 管理表 参照					
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・両面コピー・縮小コピー使用の徹底 ・Web会議、プロジェクト利用の促進 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化)	800kg/年	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	片倉	目標	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	X	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	0	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	0	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用	△								
								熊本	実績	280Kg 60%		120Kg 140%		200Kg 100%		220Kg 90%									
省エネ	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為 目標は設定せず。	管理外の為 目標は設定せず。	管理外の為 目標は設定せず。	片倉	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底									
								熊本	実績																
省エネ	電気使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所電気の使用	1) 室内不在時、昼休み時の消灯励行 2) 使用しないパソコン等の電源OFF徹底 3) 省エネパソコンへの代替を引続き進める。 4) 照明の一部で間引きを継続する。	70867kwh/年	目標維持 (70867kg)	目標維持 (70867kg)	目標維持 (70867kg)	片倉	目標	17,717 kwh	109%	0	17,717 kwh	102%	0	17,717 kwh	110%	0	17,717 kwh	96%	△				
								熊本	実績	16,096 kwh	エネルギー 管理表 参照		17,385 kwh	エネルギー 管理表 参照		15,868 kwh	エネルギー 管理表 参照		18,429 kwh	エネルギー 管理表 参照					
								片倉	目標	1,573 m ³	122%	0	2,359 m ³	83%	△	1,180 m ³	150%	0	2,752 m ³	75%	△				
熊本	実績	1,230 m ³	エネルギー 管理表 参照	2,753 m ³	エネルギー 管理表 参照	595 m ³	エネルギー 管理表 参照	3,427 m ³	エネルギー 管理表 参照																
省エネ	輸送回数の減少および梱包 用資材の削減	クレーム/不具合率の 減少	1) クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.20%	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	片倉	目標	3.20 %	126%	0	3.20 %	76%	△	3.20 %	134%	0	3.20 %	140%	0				
								熊本	実績	2.37 %	3.97 %		2.11 %	1.92 %											
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法 対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質が否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	片倉	目標	実施		実施		実施		実施									
								熊本	実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・EMS関連教育の実施 ・緊急事態対応訓練・教育 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	片倉	目標																
								熊本	実績																
上期	環境経営最高責任者コメント欄								〈コメント〉				〈コメント〉				〈コメント〉								
	コピー用紙購入量を抑制する為、再利用紙の活用も推進すること。廃棄物対策を徹底すること。								年末にかけての一斉清掃により一時的に廃棄量が多くなった。コピー用紙の使用量が依然として多い				第1四半期に比べコピー用紙の使用量及び廃棄量が削減出来た。				異動者による荷物の片付けにより、廃棄物の量が大幅に増えた。								
年度	環境経営最高責任者コメント欄								照査： 環境管理責任者				照査： 環境管理責任者				照査： 環境管理責任者								
	排出ゴミ量が増加した以外は、目標をほぼ達成できた。コピー用紙購入量とあわせて、ペーパーレス化を推進すること。																								

2023年9月期環境目標及び環境活動実施計画書

X: 目標の達成度
 O: 100% ≤ X
 Δ: 70% ≤ X < 100%
 ×: X < 70%

承認	点検	作成
宮田	EMS事務局	EMS推進者

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月期実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)			責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)																
				基準(BM) 2022年9月 期実績	目 標				目 的 2025年 9月期	第 1 四半期			評 価	第 2 四半期			評 価	第 3 四半期			評 価	第 4 四半期			評 価
					2023年 9月期	2024年 9月期				10月	11月	12月		1月	2月	3月		4月	5月	6月		7月	8月	9月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	775Kg	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標	194 kg	106%	0	194 kg	108%	0	194 kg	110%	0	194 kg	110%	0					
								実績	182 kg	キーマ 管理表 参照		179 kg	キーマ 管理表 参照		175 kg	キーマ 管理表 参照		175 kg	キーマ 管理表 参照						
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大 (各種申請、出張報告などの電子化)	1291kg/年	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標	323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	0	323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	X	323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	Δ	323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	Δ					
								実績	200Kg	138%		420Kg	70%		360Kg	89%		400Kg	76%						
省資源	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				
								実績																	
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・照明の一部で間引きを継続する。 (窓際のダウンライトを間引き) ・使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行	36342kwh/年	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標	9,086 kwh	108%	0	9,086 kwh	110%	0	9,086 kwh	111%	0	9,086 kwh	102%	0					
								実績	8,388 kwh	キーマ 管理表 参照		8,198 kwh	キーマ 管理表 参照		8,090 kwh	キーマ 管理表 参照		8,943 kwh	キーマ 管理表 参照						
	ガス使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	・冷暖房の適正温度厳守 (冷房: 28℃、暖房: 22℃) 期間 冷房6月~9月 暖房12月~3月 ・使用していない部屋の冷暖房節約	5753m³/年	目標維持 (5753m³)	目標維持 (5753m³)	目標維持 (5753m³)	目標	575 m³	124%	0	1,151 m³	133%	0	1,266 m³	149%	0	2,761 m³	127%	0					
実績								439 m³	キーマ 管理表 参照	769 m³		キーマ 管理表 参照	650 m³		キーマ 管理表 参照	2,013 m³		キーマ 管理表 参照							
輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理 (クレーム台帳の電子化済み) ・社用車の新型更新を行う	6.31%	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標	6.31 %	168%	0	6.31 %	113%	0	6.31 %	68%	X	6.31 %	113%	0						
							実績	2.00 %	5.50 %		8.32 %	5.51 %													
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにMSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標	実施				実施				実施				実施				
								実績																	
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標																	
								実績																	
上 期	環境経営最高責任者コメント欄							〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉								
	コピー用紙購入量の増加要因を確認したので、下期も実績の推移を注視すること。							コピー用紙の使用量をはじめ、電気ガス、全項目において目標を達する事が出来た。			コピー用紙の使用量は前期の減少分が今期間の増加に繋がっている。トータルで考えると一定量になっているが、更なる減少が望まれる。			クレームの解消に動いた結果、輸送回数が大幅に増えた。クレームや不具合率減少に努める必要が感じられる。			コピー用紙は期末であるため、まとめ買いとなったため、購入量は増えたが、それ以外は全体的に電気、ガスと共に目標が達成できてよかった。								
年 度	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者								
	目標値を下回る時期はあったが、年間では目標を概ね達成できた。																								

2023年9月期環境目標及び環境活動実施計画書

χ : 目標の達成度
 ○: $100\% \leq \chi$
 △: $70\% \leq \chi < 100\%$
 ×: $\chi < 70\%$

承認	点検	作成
宮田	EMS事務局	EMS推進者

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月期実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)				責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)															
				基準(BM) 2022年9月 期実績	目 標		目 的 2025年 9月期			第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価
					2023年 9月期	2024年 9月期				10月	11月	12月		1月	2月	3月		4月	5月	6月		7月	8月	9月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	901kg/年	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	鶴田	目標	225 Kg	99%	△	225 Kg	96%	△	225 Kg	96%	△	225 Kg	93%	△				
									実績	228 Kg	エネ/ル キ-管 理表 参照		235 Kg	エネ/ル キ-管 理表 参照		233 Kg	エネ/ル キ-管 理表 参照		240 Kg	エネ/ル キ-管 理表 参照					
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大 (各種申請、出張報告などの電子化) ・プロジェクト使用やWeb会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	520kg/年	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	鶴田	目標	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用			X	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用			0	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用			△	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用			△
									実績	180Kg 62%				120Kg 108%				140Kg 92%				160Kg 77%			
省エネ	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	鶴田	目標	節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底				節水表示の徹底			
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化(冷房28度程度、暖房22度程度) ・社用車の代替	51207kwh/年	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	鶴田	目標	12,802 kwh	102%	0	10,241 kwh	82%	△	12,802 kwh	98%	△	15,362 kwh	99%	△				
									実績	12,582 kwh	エネ/ル キ-管 理表 参照		12,116 kwh	エネ/ル キ-管 理表 参照		13,043 kwh	エネ/ル キ-管 理表 参照		15,589 kwh	エネ/ル キ-管 理表 参照					
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.22%	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	鶴田	目標	3.22 %	60%	X	3.22 %	108%	0	3.22 %	130%	0	3.22 %	177%	0				
									実績	4.51 %			2.95 %			2.27 %			0.73 %						
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	鶴田	目標	実施				実施				実施							
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	鶴田	目標																
									実績																
上期	環境経営最高責任者コメント欄								〈コメント〉				〈コメント〉				〈コメント〉								
	コピー用紙購入量の増加が排出ゴミの増加につながる可能性があるため、注視すること。								神戸では初めてクレーム率が目標達成に至らなかった。一時的なものとみて、次回四半期以降は注視する。				大阪営業所を含めた実績数値になったこともあり目標達成に至らなかった点が多かった。来期は目標数値の見直しを行う予定。				裏紙の再利用等の活動は続けているが、目標達成には至らなかった。10月以降の電帳法制度にも期待したい。				目標未達成の原因として、人員増員、繁忙期による残業、暑さによる季節的な問題があげられる。数値の見直しを検討する。				
年度	環境経営最高責任者コメント欄								照査：環境管理責任者				照査：環境管理責任者				照査：環境管理責任者								
	電気使用量の目標値には大阪営業所が含まれていないので、来期計画には含めた目標値とすること。種々の具体的方法の実行取り組みを進めること。																								

[様式-4]

2024年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ: 目標の達成度
 ○: 100% ≤ χ
 △: 70% ≤ χ < 100%
 ×: χ < 70%

承認	点検	作成
宮田	EMS事務局	EMS推進者

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月期実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)			責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)																
				基準(BM) 2022年9月 期実績	目 標				目的 2026年 9月期	第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価
					2024年 9月期	2025年 9月期				10月	11月	12月		1月	2月	3月		4月	5月	6月		7月	8月	9月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・排出ごみの分別を徹底する。 ・鞆を活用してレジ袋を削減。	24345L	目標維持 (24345L)	目標維持 (24345L)	目標維持 (24345L)	目標	5961 L	200%		5961 L	200%		5961 L	200%		5961 L	200%						
								実績	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照	L	エネルギー 管理表 参照									
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・両面コピー・縮小コピー使用の徹底 ・Web会議、プロジェクター利用の促進 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種 申請、出張報告などの電子化)	800kg/年	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標	紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用		紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用		紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用		紙類の削減 200Kg 使用済み封筒の 再利用										
								実績	%	%	%	%													
省資源	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提 示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目 標は設定せ ず。	管理外の為目 標は設定せ ず。	管理外の為目 標は設定せ ず。	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底										
								実績																	
省エネ	電気使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所電気の使用	1) 室内不在時、昼休み時の消灯励行 2) 使用しないパソコン等の電源OFF徹底 3) 省エネパソコンへの代替を引き続き進め る。 4) 照明の一部で間引きを継続する。	70867kwh/年	目標維持 (70867kg)	目標維持 (70867kg)	目標維持 (70867kg)	目標	17,204 kwh	200%		17,204 kwh	200%		17,204 kwh	200%		17,204 kwh	200%						
								実績	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照	kwh	エネルギー 管理表 参照									
	ガス使用量の削減 CO ₂ 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	1) 冷暖房の適正温度厳守 (冷房: 28℃、暖房: 22℃) 期間 冷房6月~9月 暖房12月~3月 2) カジュアルフライデーの通年化 3) 社用車の適正な利用を促進	7864m ³ /年	目標維持 (7864m ³)	目標維持 (7864m ³)	目標維持 (7864m ³)	目標	1,840 m ³	200%		2,759 m ³	200%		1,380 m ³	200%		3,219 m ³	200%						
輸送回数の減少および梱包 用資材の削減	クレーム/不具合率の 減少	1) クレーム台帳への記入、管理(クレ ーム台帳の電子化済み)	3.20%	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標	3.20 %	200%		3.20 %	200%		3.20 %	200%		3.20 %	200%							
有益な テーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法 対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および 毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せ ず、実績の管 理を行う。	目標は設定せ ず、実績の管 理を行う。	目標は設定せ ず、実績の管 理を行う。	目標	実施		実施		実施		実施										
								実績																	
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・EMS関連教育の実施 ・緊急事態対応訓練・教育 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標																	
								実績																	
上期	環境経営最高責任者コメント欄							(コメント)			(コメント)			(コメント)			(コメント)								
年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者								

2024年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ：目標の達成度

○：100% ≤ χ

△：70% ≤ χ < 100%

×：χ < 70%

承認	点検	作成
宮田	EMS事務局	EMS推進者

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月期実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)			責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)																
				基準(BM) 2022年9月 期実績	目 標				目 的 2026年 9月期	第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価
					2024年 9月期	2025年 9月期				10月	11月	12月		1月	2月	3月		4月	5月	6月		7月	8月	9月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	775Kg	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標	194 kg	200%		194 kg	200%		194 kg	200%		194 kg	200%						
								実績	kg	キ-管理表参照	kg	キ-管理表参照	kg	キ-管理表参照	kg	キ-管理表参照									
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大 (各種申請、出張報告などの電子化)	1291kg/年	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標	323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	%	%	%	%					
								実績	%	%	%	%													
省エネ	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	目標	節水表示の徹底	節水表示の徹底	節水表示の徹底	節水表示の徹底	節水表示の徹底	節水表示の徹底	節水表示の徹底	節水表示の徹底									
								実績																	
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・照明の一部で間引きを継続する。 (窓際のダウンライトを間引き) ・使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行	36342kwh/年	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標	9,086 kwh	108%	9,086 kwh	110%	9,086 kwh	111%	9,086 kwh	102%	kwh	キ-管理表参照	kwh	キ-管理表参照	kwh	キ-管理表参照	kwh	キ-管理表参照	
								実績	kwh	キ-管理表参照	kwh	キ-管理表参照	kwh	キ-管理表参照	kwh	キ-管理表参照									
								目標	575 m ³	200%	1,151 m ³	200%	1,266 m ³	200%	2,761 m ³	200%	m ³	キ-管理表参照	m ³	キ-管理表参照	m ³	キ-管理表参照			
省エネ	ガス使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	・冷暖房の適正温度厳守 (冷房：28℃、暖房：22℃) 期間 冷房6月～9月 暖房12月～3月 ・使用していない部屋の冷暖房節約	5753m ³ /年	目標維持 (5753m ³)	目標維持 (5753m ³)	目標維持 (5753m ³)	目標	575 m ³	200%	1,151 m ³	200%	1,266 m ³	200%	2,761 m ³	200%	m ³	キ-管理表参照	m ³	キ-管理表参照	m ³	キ-管理表参照			
								実績	m ³	キ-管理表参照	m ³	キ-管理表参照	m ³	キ-管理表参照											
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み) ・社用車の新型更新を行う	6.31%	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標	6.31 %	200%	6.31 %	200%	6.31 %	200%	6.31 %	200%	%	%	%	%					
								実績	%	%	%	%													
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施									
								実績																	
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	目標																	
								実績																	
上期	環境経営最高責任者コメント欄							〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉								
	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者								
年度	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者								
	環境経営最高責任者コメント欄							照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者								

2024年9月期 環境目標及び環境活動実施計画書

χ : 目標の達成度
 ○: $100\% \leq \chi$
 △: $70\% \leq \chi < 100\%$
 ×: $\chi < 70\%$

承認	点検	作成
宮田	EMS事務局	EMS推進者

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月期実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)				責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)															
				基準(BM) 2022年9月 期実績	目 標		目 的 2026年 9月期			第 1 四半期			評 価	第 2 四半期			評 価	第 3 四半期			評 価	第 4 四半期			評 価
					2024年 9月期	2025年 9月期				10月	11月	12月		1月	2月	3月		4月	5月	6月		7月	8月	9月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	901kg/年	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	鶴田	目標	225 Kg	200%		225 Kg	200%		225 Kg	200%		225 Kg	200%					
									実績	Kg	エネ/キ-管理表参照	Kg	エネ/キ-管理表参照	Kg	エネ/キ-管理表参照	Kg	エネ/キ-管理表参照								
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化) ・プロジェクト使用やWeb会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	520kg/年	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	鶴田	目標	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒の再利用									
									実績	%	%	%													
省資源	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	鶴田	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底									
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化(冷房28度程度、暖房22度程度) ・社用車の代替	51207kwh/年	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	鶴田	目標	12,802 kwh	200%	10,241 kwh	200%	12,802 kwh	200%	15,362 kwh	200%								
									実績	kwh	エネ/キ-管理表参照	kwh	エネ/キ-管理表参照	kwh	エネ/キ-管理表参照	kwh	エネ/キ-管理表参照								
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.22%	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	鶴田	目標	3.22 %	200%	3.22 %	200%	3.22 %	200%	3.22 %	200%								
									実績	%	%	%													
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	鶴田	目標	実施		実施		実施		実施									
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	鶴田	目標																
									実績																
上期	環境経営最高責任者コメント欄								〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉							
	環境経営最高責任者コメント欄								照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者							

【6】環境関連法規の一覧

No.	法令等	条 項 (内容及 び基準)	適用される施設・物質等と該当する 環境影響内容 (適用施設・業務内容等)	当該要求事項 (規制事項)	遵守状況	評価 結果	確認時期	確認者
	法条例の名称							
1	廃棄物処理及び清掃に関する法律	第14条 (産業廃棄物処理業)	◇許可を受けた廃棄物処理業者との契約をすること。 ◇産業廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、収集運搬業者及び処分業者それぞれと委託契約を締結している。	ビル管理会社及び同委託業者との契約書・業者の許可証の確認	契約書・許可書の確認	○	2023年6月30日	宮田
2	消防法 東京都震災対策条例 火災防止条例	第五十条の三	新橋2丁目5-5 新橋2丁目MTビル	火災訓練参加 防火管理者の選定	火災訓練実施記録 防火管理者 (伊藤支店長) 選定、 確認	○	2023年5月31日	宮田
3	消防法 神戸市火災予防条例	第8条1項 神戸市火災予防条例 第50条の6	明石町32番地 明海ビル	火災訓練 防火管理者の選定	火災訓練実施記録 防火管理者 (添田取締役)の選定	○	2023年5月31日	宮田
4	名古屋市火災予防条例	火災予防条例第4章	栄1-2-7 名古屋東宝ビル	第4章避難及び防火の管理等	火災訓練実施記録 防火管理者 (木村理事支店長) 選定、 確認	○	2023年5月31日	宮田
5	毒物及び劇物取締法(毒劇法) 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)	第6条(登録事項)	毒物劇物の輸入や販売には免許(登録)が必要 新規化学物質の事前審査、化学物質の性状等に応じた規制及び措置(事前届出)、上市後の化学物質の継続的な管理措置(事後届出)	毒物劇物輸入 業品目の登録 新規化学物質なら事前審査が、新規でなければ事前または事後の届出が必要	毒物劇物輸入業品目登録済証	○	2023年5月31日	宮田

【7】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023年9月30日 環境関連法規制の遵守評価をした結果

違反はありません。また、関係当局からの指摘についても過去3年間ありません。

同様に訴訟についても過去3年間ありません。

【8】環境経営責任者による全体評価と見直し

リモート会議を活用する機会が増え、電子帳簿保存法への対応による更なるペーパーレス化に期待できる。

取引先からのCSR調査が増え、環境への取り組み状況についての問い合わせが増えた。

環境活動実施計画書に記載されている具体的方法の実行取り組みを進める。

事業の拡大により増員が見込まれており、環境教育や業務効率化の推進を引き続き徹底する。

項 目	変更の要否	システムの変更に 関する 決定・処置 (改善の機会含む)
環境方針	要・否	環境方針を継続する。
環境目的・目標	要・否	次回の3か年計画で目標値を見直し予定。
環境マネジメントシステムの その他の要素	要・否	JIS Q 9100(ISO 9001)を 引続き認証継続している。

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

2024/1/30

		単位	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期	2017年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期	2023年 9月期	
① 総エネルギー投入量	購入電力（東京）	MJ	777,553	765,452	712,282	710,581	690,813	623,723	635,193	592,093	696,616	673,070	
	購入電力（中部）	MJ	315,268	308,367	321,677	335,075	330,042	325,039	330,268	363,867	357,242	330,475	
	購入電力（神戸）	MJ	490,409	472,754	438,074	465,903	455,925	464,448	460,319	475,192	552,859	524,231	
	化石燃料（東京）	MJ	720,475	702,338	648,975	624,266	706,188	616,302	583,284	341,026	459,191	351,480	
	化石燃料（中部）	MJ	543,471	511,255	463,256	417,986	501,888	534,877	698,105	753,537	445,203	380,974	
	化石燃料（神戸）	MJ	118,412	117,762	114,040	91,754	73,864	72,215	60,049	62,228	73,900	71,334	
	新エネルギー	MJ											
	その他	MJ											
② 総物質投入量	資源投入量	t											
	循環資源投入量	t											
③ 水資源投入量	上水	m ³											
	工業用水	m ³											
	地下水	m ³											
【④ 温室効果ガス排出量】	二酸化炭素（東京）	Kg-CO ₂	72,054	66,566	61,818	60,529	63,639	56,233	54,910	40,544	50,137	48,282	
	二酸化炭素（中部）	Kg-CO ₂	44,619	42,200	39,747	38,425	20,916	43,906	51,565	66,431	43,489	36,416	
	二酸化炭素（神戸）	kg-CO ₂	26,803	26,081	24,498	24,072	22,488	25,505	21,730	22,448	29,420	23,449	
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t											
	公共用水域への排出	t											
	土壌への排出	t											
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t											
	環境負荷低減に資する製品	t											
	容器包装使用量	t											
【⑦ 廃棄物等総排出量】	再使用	KG											
	再生利用	KG											
	熱回収	KG											
	単純焼却	KG											
	その他	KG											
⑧ 廃棄物最終処分量	最終処分量（東京支店）	kg					800.00						
	最終処分量（中部支店）	kg					803.00						
	最終処分量（神戸本社）	kg					906.44						
⑧ 産業廃棄物	最終処分量（東京支店）	kg					12.6						
	最終処分量（中部支店）	kg					12,183.0						
	最終処分量（神戸本社）	kg					178.5						
【⑨ 総排水量】	公共用水域	m ³											
	下水道	m ³											
	BOD	g											

※温室効果ガス排出量の算定に使用した各電気事業者の排出係数（2022年7月14日公表）： 東京電力 0.441 Kg-CO₂/kWh / 中部電力 0.377 Kg-CO₂/kWh / 関西電力 0.350 Kg-CO₂/kWh